

「高効率・高速処理を可能とするAIチップ・次世代コンピューティングの技術開発事業」の事前評価における  
調査検討事項及び評価内容等(事務局案)

平成 29 年 10 月 25 日  
評価専門調査会

【調査検討事項及び評価内容】

1. 評価対象案件の実施府省における評価方法及び評価結果の妥当性

「国の研究開発評価に関する大綱的指針（平成 28 年 12 月 21 日）」の評価方針に照らして評価方法が妥当であるかどうか。

2. 関連する上位の政策・施策等の目標を達成するための道筋

(1) アウトカムの上位の政策・施策における位置付け

- ① 本研究開発がどの上位の政策・施策等に基づいているか。
- ② ①において、本研究開発本体のロードマップが上位の政策・施策等のロードマップのどの位置づけにあるか。

(2) アウトプット・アウトカム等が時間軸上で明確に設定された道筋の妥当性

アウトプット・アウトカム等が時間軸上で明確にされ、そこまでの道筋が明確であるか。

(3) 設定されたアウトカム目標と設定方法の妥当性

設定したアウトカム目標及び設定根拠が妥当か。

3. 研究開発の目標・実施内容

(1) 研究開発の意義、目標、実施内容等の明確化

研究開発の意義、目標、実施内容等が明確であるか。

(2) 府省庁内での関連研究開発・施策との関係性

府省庁内での関連研究開発・施策との関係性、その取り組み内容が妥当か。  
(関係性がある場合に限る。)

(3) 産学官での連携・役割

産学官での連携・役割が明確かどうか。

**(4) 他府省庁との関連プロジェクトとの連携・役割**

他府省庁との関連プロジェクトとして連携・役割が明確化どうか。(関係プロジェクトである場合に限る。)

**(5) 国際競争力の観点からの妥当性**

国際競争力（海外展開や海外企業との連携等によるコスト競争力の向上、世界市場シェアの拡大など）の観点が示されているか。

**4. 研究開発マネジメント**

**(1) 役割分担や権限等が明確になった実施体制**

研究開発体制において、役割分担や権限等が明確であるかどうか。

**(2) 技術の進展や社会情勢の変化を踏まえた PDCA プロセス(挑戦的な研究開発の場合は、その評価制度等も含む)**

① 技術の進展や社会情勢の変化を踏まえて研究開発を柔軟に見直す PDCA プロセスが適切に設定されているか。

② 評価実施の概要及び体制が適切か。

**【実施スケジュール(予定)】**

平成 29 年 10 月 25 日	第 123 回評価専門調査会 ・ 事前評価に係る調査検討 (関係府省庁等からの説明、評価委員会座長等からのヒアリングを含む)
平成 29 年 11 月 16 日	第 124 回評価専門調査会 ・ 評価結果案のとりまとめ
平成 29 年 12 月	総合科学技術・イノベーション会議 ・ 評価結果案の審議・決定